

資料番号	1
------	---

令和3年10月5日
課名 商工労働局
商工労働総務課
担当者 課長 長谷川
内線 3310

広島県経済の動向

2021年10月5日

商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	県内小売業等の動向	5
1	百貨店・スーパー	
2	飲食	
3	観光	
IV	中小企業の動向	7
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
V	企業倒産状況	9
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
VI	最近の雇用失業情勢	10
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R3年		
	7月	8月	9月
基調判断	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。		景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、このところそのテンポが弱まっている。
輸出	緩やかな増加が続いている。		
生産	持ち直している。		このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している。
設備投資	持ち直している。		
雇用情勢	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる。		
個人消費	サービス支出を中心に弱い動きとなっている。		弱い動きとなっている。
住宅建設	底堅い動きとなっている。		このところ持ち直しの動きがみられる。
企業収益	感染症の影響により、非製造業では弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。	感染症の影響により、非製造業の一部に弱さが残るものの、持ち直している。	

(2) 先行き

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和3年9月16日公表）】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R3年		
	5月	6月	7月
基調判断	持ち直しのペースが鈍化している。		下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある。
輸出	持ち直しのペースが鈍化している。		自動車を中心に下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある。
生産	持ち直しのペースが鈍化している。		自動車を中心に下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある。
設備投資	下げ止まりつつある。	下げ止まっている。	
雇用情勢	弱い動きがみられている。		
個人消費	サービス消費を中心に下押し圧力が強まっており、持ち直しが一服している。		サービス消費を中心に下押し圧力が続いているが、持ち直しが一服している。
住宅投資	下げ止まっている。		

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症が県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和3年8月2日公表）】
9月については公表無し。

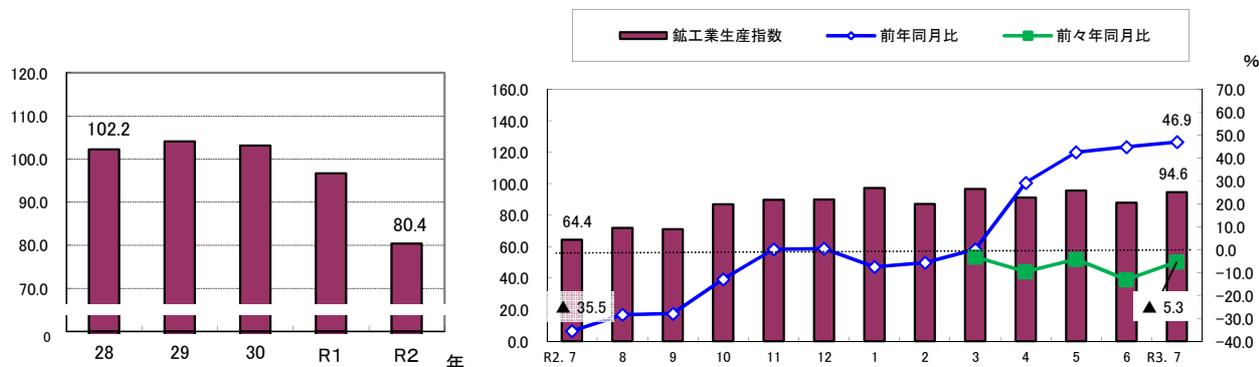
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和3年7月)

7月の鉱工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は94.6で, 前年同月比で46.9%増加, 前々年同月比5.3%減少となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

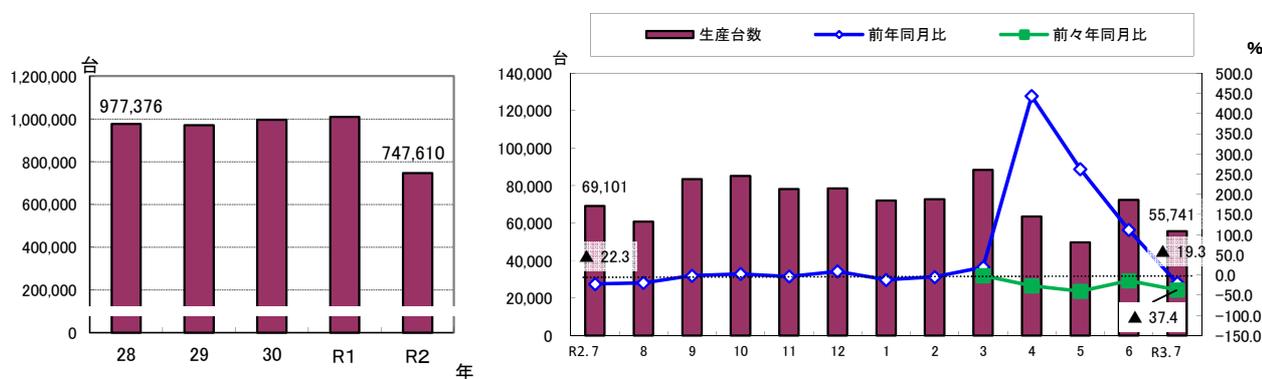


2 自動車(令和3年7月)

7月の国内生産台数は55,741台で, 前年同月比で19.3%減少, 前々年同月比37.4%減少となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

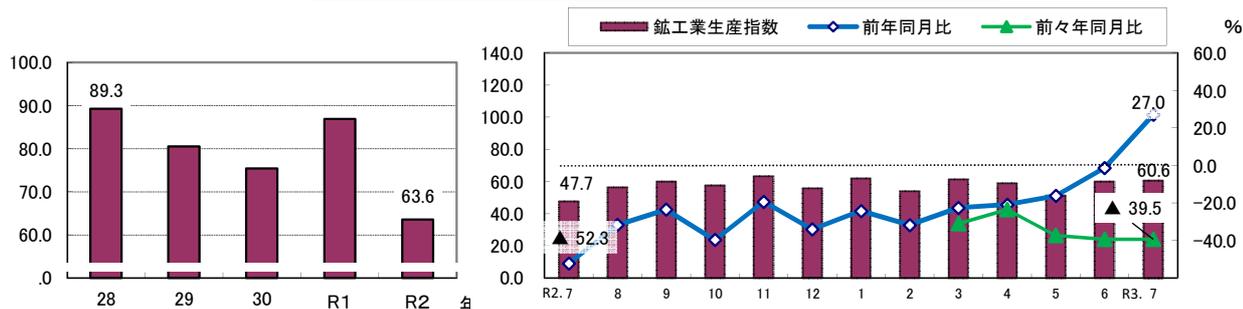


3 造船(令和3年7月)

7月の鉱工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は60.6で, 前年同月比で27.0%増加, 前々年同月比39.5%減少となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

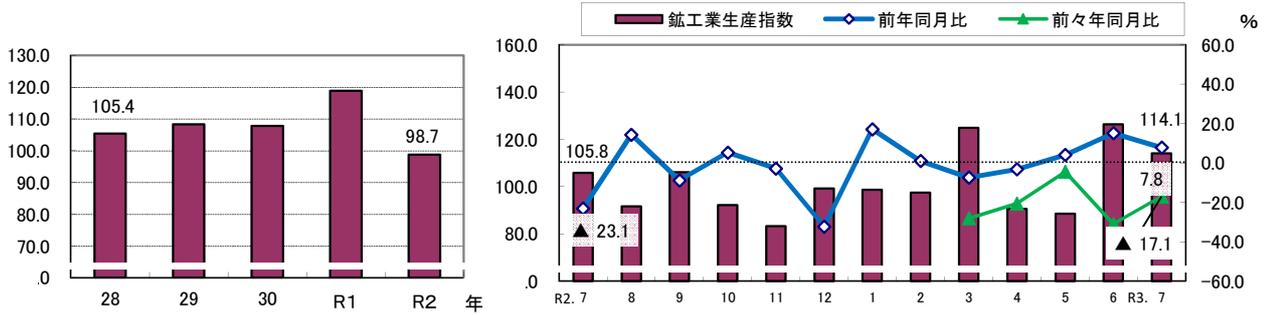


4 一般機械(令和3年7月)

7月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は114.1で, 前年同月比で7.8%増加, 前々年同月比17.1%減少となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

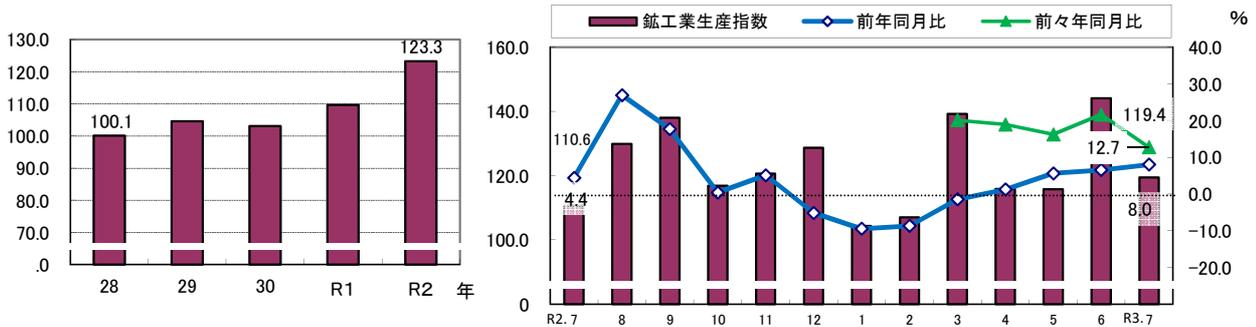


5 電気機械(令和3年7月)

7月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は119.4で, 前年同月比で8.0%増加, 前々年同月比12.7%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



Ⅲ 県内小売業等の動向

1 百貨店・スーパー(令和3年7月)

広島県の7月の販売額は、36,188百万円(速報値)で全店舗前年同月比で0.2%減少、前々年同月比3.8%減少となっている。

中国地域百貨店・スーパー販売動向(広島県)(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【中国経済産業局】

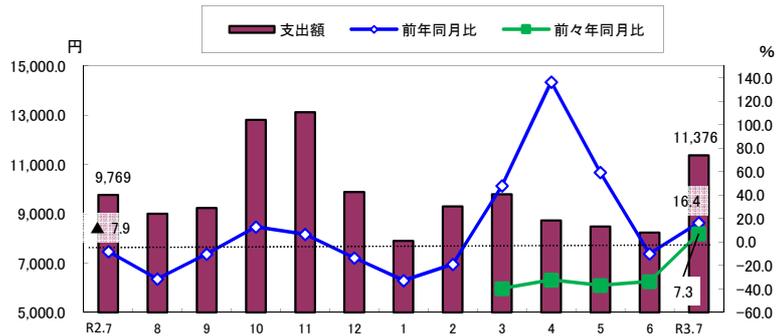


2 飲食(令和3年7月)

広島市の7月の1世帯(二人以上の世帯)当たりの外出に係る支出は、11,376円で前年同月比で16.4%増加、前々年同月比7.3%増加となっている。

家計調査・1世帯当たりの1か月間の収入と支出(広島市)(月別・前年同月比・前々年同月比)

【総務省統計局】



3 観光（令和3年6月）

(1) 宿泊客数

直近の数値である、令和3年6月の宿泊客数は、前年同月と比べ3.2万人泊減（△9%）、令和元年同月と比べ56.3万人泊減（△64%）となっている。

【観光庁 宿泊旅行統計調査】

(万人泊)

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	1-6月計
広島県	宿泊者数	30.3	34.4	52.9	47.0	39.7	31.2	235.6
	R2年宿泊者数	73.6	72.6	54.7	26.5	20.9	34.4	282.8
	R2年比	41%	47%	97%	177%	189%	91%	83%
	R元年宿泊者数	74.4	77.1	101.8	108.7	108.7	87.5	558.4
	R元年比	41%	45%	52%	43%	36%	36%	42%
全国	宿泊者数	1,729	1,763	2,729	2,244	2,047	1,960	12,473
	R2年比	37%	43%	106%	208%	229%	124%	84%

※R3年は第2次速報値で、R元年およびR2年の宿泊客数は、確定値を反映。

R3年の宿泊者数は、宿泊旅行統計調査の確定値公表時に置き換えるものとする。

なお、数値については、単位未満の端数処理を行っているため、表内で一致しない場合がある。

(2) 県内主要観光施設の観光客数

7月は、本県の集中対策が終了したことによる外出機会の高まりなどにより、前年に比べて観光客数が増加したものの、7月末以降のまん延防止等重点措置や緊急事態宣言等により、8月の観光客数は、7月から減少、かつ、前年に比べても減となっている。

【(一社)広島県観光連盟 調査】

(人)

観光施設	R元年			R2年			R3年			
	6月	7月	8月	6月	7月	8月	6月	7月	8月	
広島平和記念資料館	150,107	130,919	213,606	9,314	19,797	40,427	6,615	39,644	9,643	
	R元年比	—	—	6%	15%	19%	4%	30%	5%	
	R2年比	—	—	—	—	—	71%	200%	24%	
宮島来島者数	301,989	292,467	447,417	88,587	117,387	160,742	71,282	143,854	132,730	
	R元年比	—	—	—	29%	40%	36%	24%	49%	30%
	R2年比	—	—	—	—	—	80%	123%	83%	
大和ミュージアム	62,797	72,655	141,051	13,968	23,757	33,982	3,712	27,472	23,910	
	R元年比	—	—	—	22%	33%	24%	6%	38%	17%
	R2年比	—	—	—	—	—	27%	116%	70%	
道の駅たけはら	12,987	13,975	16,191	9,534	10,857	13,403	7,667	10,872	9,938	
	R元年比	—	—	—	73%	78%	83%	59%	78%	61%
	R2年比	—	—	—	—	—	80%	100%	74%	
神楽門前湯治村（定期公演）	2,707	2,099	3,517	休館	休館	休館	150	1,132	785	
	R元年比	—	—	—	—	—	6%	54%	22%	
	R2年比	—	—	—	—	—	—	—	—	
千光寺ロープウェイ	30,611	35,979	50,681	9,933	18,041	27,285	3,301	19,018	16,177	
	R元年比	—	—	—	32%	50%	54%	11%	53%	32%
	R2年比	—	—	—	—	—	33%	105%	59%	
福山市鞆の浦歴史民俗資料館	1,154	912	1,654	363	695	887	213	659	218	
	R元年比	—	—	—	31%	76%	54%	18%	72%	13%
	R2年比	—	—	—	—	—	59%	95%	25%	
国営備北丘陵公園（千人）	22	28	44	18	20	39	4	22	17	
	R元年比	—	—	—	83%	70%	88%	20%	78%	40%
	R2年比	—	—	—	—	—	25%	112%	45%	

IV 中小企業の動向(令和3年8月)

【広島県中小企業団体中央会（令和3年9月15日時点）】

1 概況

全体的には、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令の影響を受け、景気は横ばい～やや下降傾向である。半導体の不足や自動車メーカーの大幅な減産による影響が業種をまたいで顕著に見られる。また、大雨の影響により営業活動や販売量が減少した業種もある。依然として、様々な業種において先行き不透明感が強く、今後の需給動向をしっかりと注視していく必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数が前年同月比2.1%減少と2ヶ月連続での前年割れとなった。マツダ車は同25.4%減少と3ヶ月連続の前年割れとなる一方、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比3.8%増加と5ヶ月連続の前年超えとなった。

木材業界では、全国住宅着工戸数は前年同月比9.9%増加となり、広島県内の着工戸数は前年同月比34.6%増加となった。回復傾向にあるものの、全国と同様、ウッドショックの影響で春先に表面化した木材の品薄が常態化し、価格の高騰も続いている。

2 景況感・景況感の変化

業種	7月の景況感	8月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	普通	やや好況
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	普通	悪い
土石製品	やや悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	やや悪い
金属製品	悪い	悪い

業種	7月の景況感	8月の景況感
一般機械器具	やや悪い	やや悪い
電気機械器具	やや好況	やや好況
自動車部品	普通	普通
造船	やや悪い	やや悪い
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	普通	やや悪い
内航海運	悪い	悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位・業種)

景況感	7月	8月	増減
好況	0	0	0
やや好況	1	2	1
普通	5	2	▲ 3
やや悪い	12	12	0
悪い	2	4	2

(3) 前月(7月)から変化のあった主な業種

業種	7月の景況感	8月の景況感	変化の理由・状況									
木材	普通	やや好況	<ul style="list-style-type: none"> ・7月の着工戸数は1,423戸で対前年同月比34.6%増加 ・内訳としては、持家は493戸で前年同月比14.4%増加、貸家は511戸で同27.4%増加、分譲は417戸で85.3%増加と、県全体の住宅着工動向は4カ月連続の増加となった。 ・地域別では広島市が640戸で前年同月比28.5%増加、福山市は259戸で同17.2%増加、東広島市は127戸で同47.7%増加、呉市は74戸で同89.7%増加、尾道市は59戸で同96.7%増加と全体的に回復傾向にあるものの、全国と同様、ウッドショックの影響で春先に表面化した木材の品薄が常態化し価格の高騰も続いている。業種業態による繁閑格差も顕著であり、秋需に向けて大雨による出材への影響や今後の需給動向を注視していく必要がある。 <p>【広島県木材協同組合連合会】</p>									
トラック輸送	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・8月の荷動きは、前半(盆休前まで)は食品、日用品等が活発でウィング車が不足した。後半の荷動きは、半導体不足による自動車の減産や新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が発令されたこともあり、極端に減少した。 <p>【広島輸送ターミナル協同組合】</p>									
プラスチック製品	普通	悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による半導体、自動車部品の不足等で、自動車の減産が9月上旬まで続く予測である。 ・また、樹脂の供給不足や、モーター等の電気部品の不足も徐々に始まっており、先行きの悪化が危惧される。 <p>【広島県プラスチック工業会】</p>									
土石製品	やや悪い	悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷状況(24工場) <table border="0"> <tr> <td>R3年8月</td> <td>2,186m³</td> <td>(対前年比16.60%減)</td> </tr> <tr> <td>R3年7月</td> <td>2,591m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2年8月</td> <td>2,621m³</td> <td></td> </tr> </table> <p>【広島地区生コンクリート協同組合】</p>	R3年8月	2,186m ³	(対前年比16.60%減)	R3年7月	2,591m ³		R2年8月	2,621m ³	
R3年8月	2,186m ³	(対前年比16.60%減)										
R3年7月	2,591m ³											
R2年8月	2,621m ³											

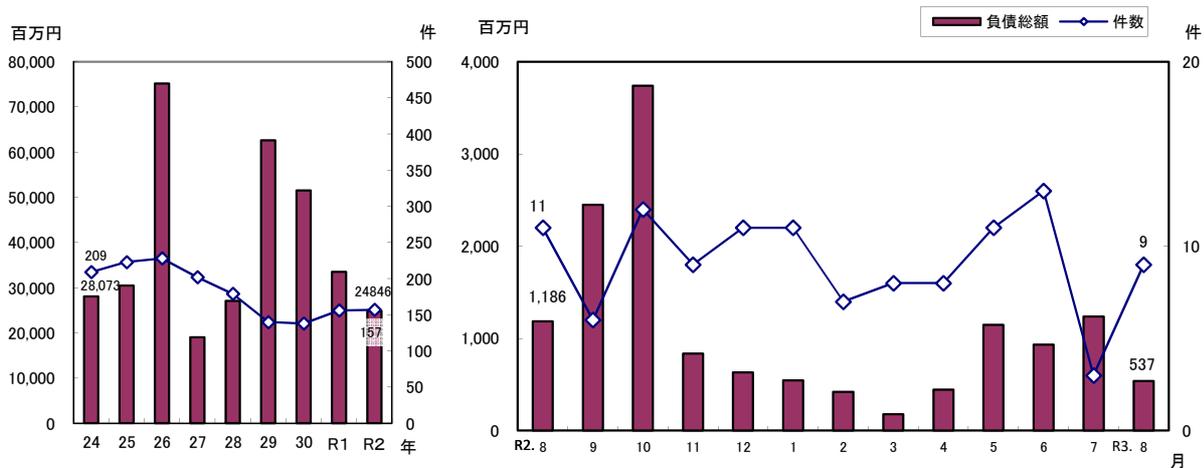
V 企業倒産状況(令和3年8月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上倒産は、件数が9件、総額5億3,700万円であった。
- ・前月比で件数は6件増加し、負債総額は7億200万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は2件減少し、負債総額は6億4,900万円減少した。
- ・大型倒産(負債総額10億円以上)は発生しなかった。

区 分	令和3年6月	令和3年7月	令和3年8月
件 数 (前年同月比)	13件 (27.8%減)	3件 (84.2%減)	9件 (18.2%減)
負債総額 (前年同月比)	934百万円 (8.9%減)	1,239百万円 (46.8%減)	537百万円 (54.7%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が5件、建設業3件、運輸・通信業1件となった。負債総額では、卸・小売・飲食業、運輸・通信業、建設業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が5件、他社倒産余波が2件、シワ寄せ、その他が各1件であった。

4 今後の見通し

2021年8月度も倒産件数、負債総額ともに前年同月を下回り、2021年1月～8月までの累計倒産件数は70件と前年比59件減(2020年1月～8月の累計129件)と引き続き倒産は抑制された状態にある。一方、新型コロナウイルス関連倒産の県内倒産は8月にも2件発生、2020年9月以降11カ月連続で発生して累計で46件(準備中、負債総額1,000万円未満を除く)となった。

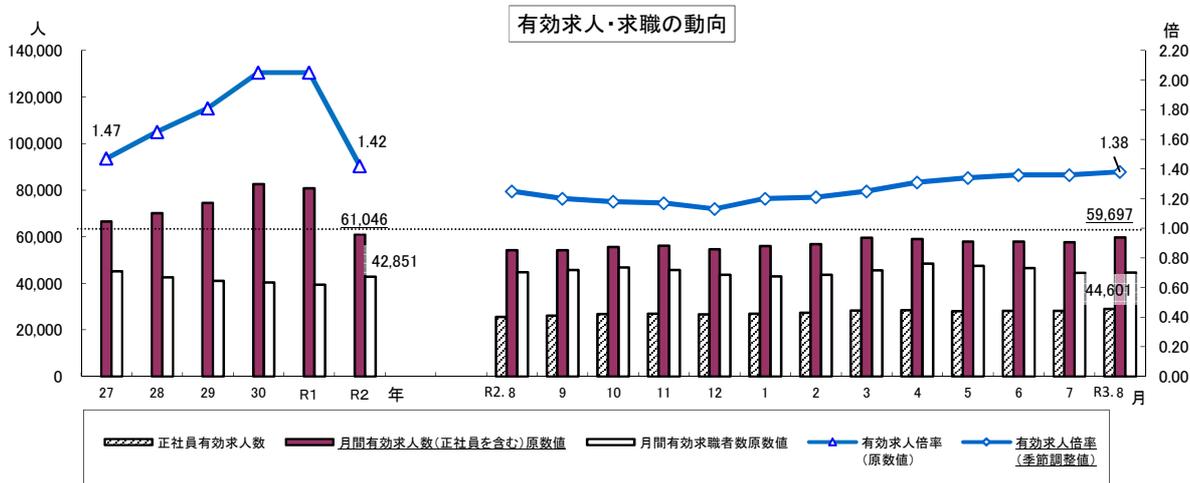
前述の通り、資金繰り支援策は倒産抑制に効果を発揮して倒産件数は抑制された状態が続いているが、時間の経過とともに副作用として過剰債務が大きな課題に浮上している。さらに第5波による感染拡大によって新型コロナウイルス新規感染者数は広島県内でも増加し、8月27日に緊急事態宣言が発令され、経済活動に制限がかかった状態となった。3度目となる緊急事態宣言による移動制限や消費低迷は、これまでの影響と併せて深刻なダメージを及ぼしかねない。9月に入っても県内の感染状況も未だ厳しい状態が続いており、緊急事態宣言の9月12日解除は難しい見方もあるなど情勢の改善には時間を要することが予測される。このような中、取り巻く環境が好転する兆しは乏しく、従来から財務内容の脆弱な先や新型コロナウイルス感染拡大の影響を諸に受けて疲弊した企業を中心に、今後企業倒産は増勢をたどる可能性が高く、注意が必要な状態が続く。

VI 最近の雇用失業情勢(令和3年8月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和3年6月	令和3年7月	令和3年8月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.36倍 (+ 0.02ポイント)	1.36倍 (+ 0.00ポイント)	1.38倍 (+ 0.02ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.05倍 (+ 0.08ポイント)	1.07倍 (+ 0.10ポイント)	1.09倍 (+ 0.16ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

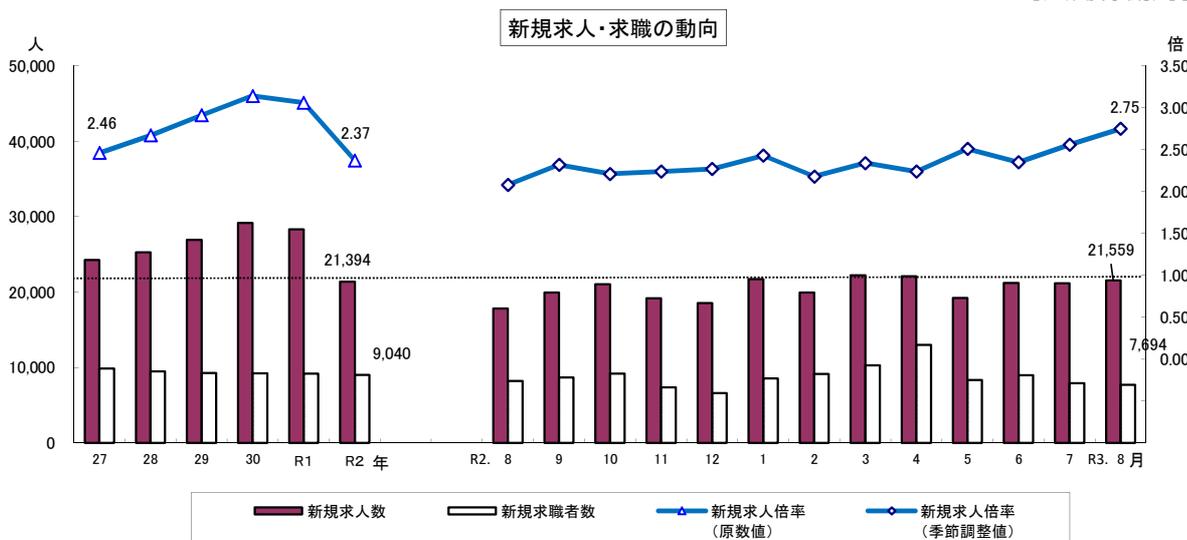
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和2年1月から令和2年12月の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)(令和3年度)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和3年6月	令和3年7月	令和3年8月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.35倍 (▲ 0.16ポイント)	2.56倍 (+ 0.21ポイント)	2.75倍 (+ 0.19ポイント)

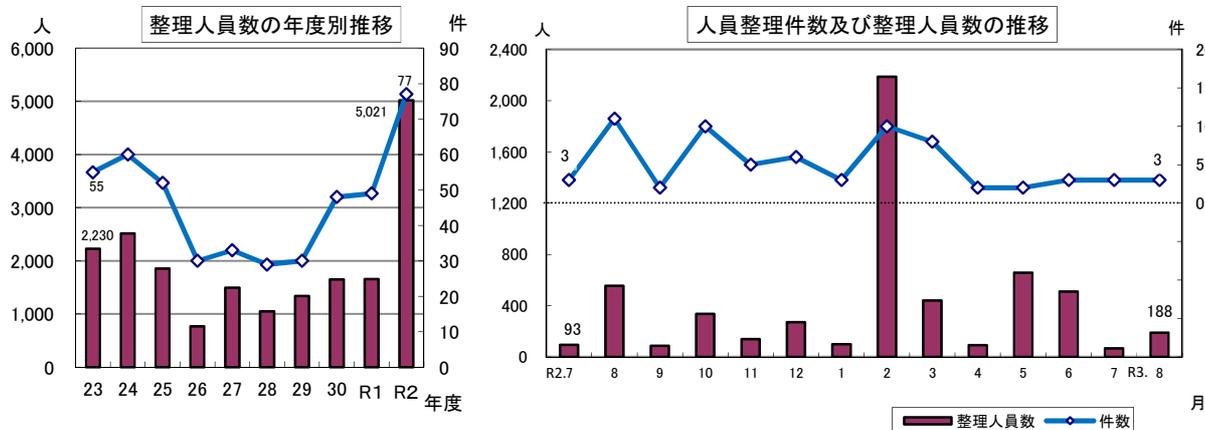
【広島労働局】



(注) 令和2年1月から令和2年12月の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和3年6月	令和3年7月	令和3年8月
件数 (前年同月比)	3件 (▲ 1件)	3件 (± 0件)	3件 (▲ 8件)
整理人員 (前年同月比)	509 (+ 240人)	66人 (▲ 27人)	188 (▲ 367人)

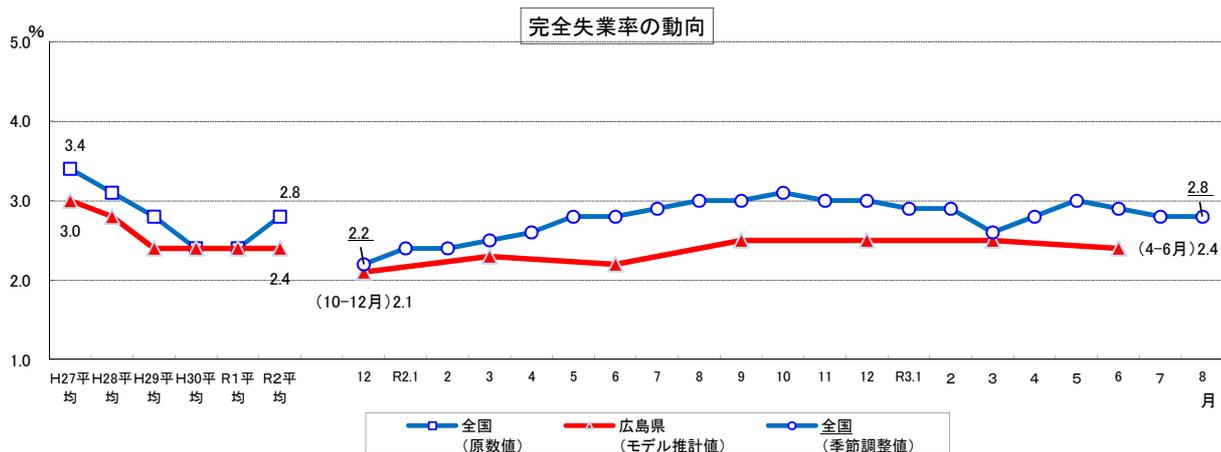


4 完全失業率の状況

区 分	令和3年6月	令和3年7月	令和3年8月
全国完全失業者数 (前年同月比)	206万人 (+11万人)	191万人 (▲6万人)	193万人 (▲13万人)
全国完全失業率<季節調整値> (前月比)	2.9% (▲ 0.1%)	2.8% (▲ 0.1%)	2.8% (+ 0.0%)

区 分	令和2年	令和3年	
	10~12月期平均	1~3月平均	4~6月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前期比)	2.5% (+ 0.3%)	2.5% (+ 0.2%)	2.4% (+ 0.0%)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。